

海岸漂着物問題啓発事業「スポ GOMI 大会」の実施状況

美しい山形・最上川フォーラム 大泉 茂



- 山形県では、海岸漂着物の7～8割が陸域から出たもので、水路や川を通過して海に流れ出したものであると言われている。川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」事業、また9月に開催された「第36回全国豊かな海づくり大会」の記念事業として裸足で歩ける庄内海岸を目指し、海岸漂着物問題を広く県民に啓発するため、ごみ拾いにスポーツの要素を加えた「スポーツ GOMI 拾い」の開催を県内全域で行っている。平成25年度から60大会以上実施し、27年度は延べ1,300名が参加した。(28年度実施箇所は後述)

参加者は、10代(主に中学生、高校生)の参加が多く、参加後のアンケートでは、「目に見えない場所へのペットボトルやタバコのポイ捨てなどが予想外に多く、マナーの悪さについて残念に思う」「継続的に参加したい」「自分もゴミを出さないようにしたい」などの声が多く寄せられている。



海岸に流れ着いたレジンペレットや漁具

- 「スポーツ GOMI 拾い」とは2008年に日本で始まったもので、3～5名で1つのチームを作りエントリーする。制限時間内に決められたエリアを拾いながら、拾ったごみの量と質でポイントを競い合う、大人から小さな子どもまで誰でも楽しみながら無理なく参加できるスポーツ×環境活動である。
- 様々な主体と共催、協力をしながら開催している。
例：商店会、企業、工業団地、NPO等

商店会や企業との大会では、28年度は従来の方式にクイズラリーを取り入れ、地元の商店を回遊できる、文化財に触れる、等の地域活性化や、山形県のゴミの実態を数字で知る等の環境問題をより身近に感じてもらえるような方法を併せて行っている。

・大会の流れ



開会式では、選手宣誓を行った後、参加者みんなで「ゴミ拾いは、スポーツだ!!」の掛け声とともに競技スタート



開会式・選手宣誓の後、エリアマップを見ながらチームごとに作戦タイム



ゴミは決められたルールで分別しながら回収する
開催地によってローカルルールが設けられることもある



競技時間終了後は、チームごとに計量タイム
ごみの内容によってポイントが違っている



ポイント数の多いチームが入賞!!

・平成 28 年度スポ GOMI 大会開催箇所(10 月現在)

4/17	川西町	川西町スポ GOMI 大会	雨天のため中止
5/15	金山町	遊学の森杯スポ GOMI 大会	
5/25	米沢市	米沢市チャレンジデー特別企画 スポ GOMI 大会	
6/19	米沢市・川西町	ふるさと OMOIYARI プロジェクト 2016in 米沢・川西	
6/26	天童市	モンテディオ杯 2016 スポ GOMI 大会	
7/10	新庄市	スポ GOMI in 新庄	
7/30	山形市	スポ GOMI で街歩き 山形大会	
8/6	鶴岡市	ゴミ拾いはスポーツだ in 庄内 湯野浜大会①	
8/6	川西町	川西町スポ GOMI 大会	中止
8/28	鶴岡市	ゴミ拾いはスポーツだ in 庄内 湯野浜大会②	
9/4	鶴岡市	ゴミ拾いはスポーツだ in 庄内 由良大会	
9/6	天童市	ふれんどしっぷ水辺の郷サミット 2016 スポ GOMI 大会&クリーンアップ	
9/11	長井市	スポ GOMI 大会 in 長井	
9/25	鶴岡市	ゴミ拾いはスポーツだ in 環境フェアつるおか 2016	
10/1	河北町	スポ GOMI in 河北町環境フェア2016	
10/19	山形市	アルカディアソフトパーク山形クラブ スポ GOMI 大会	
10/20	山形市	安藤ハザマ協力会東北支部 スポ GOMI 大会&クリーンアップ	
10/22	山形市	ぼんぼこカード スポ GOMI 大会 2016	
10/29	天童市	モンテディオ杯 2016 スポ GOMI 10 月大会	